

2010 年日本平和大会 IN 佐世保まであと 1 カ月――

沖縄県知事選挙勝利の活動と結び、 平和大会を大きく成功させましょう！

全国から代表を送り出し米軍基地・安保反対運動の飛躍をつくりましょう

2010 年 11 月 4 日 2010 年日本平和大会第 8 回実行委員会

2010 年日本平和大会 IN 佐世保（12 月 2-5 日）まで、あと約 1 カ月となりました。新米軍基地建設反対、普天間基地の撤去を争点とした沖縄県知事選挙勝利の活動と結び、この大会に全国・各団体から多数の代表を送り、「核兵器も基地も軍事同盟もない平和な日本とアジア」めざす運動の、新たな発展をつくりだしましょう。

大会には、県知事選挙勝利へ全力をあげてとりくんでいる沖縄の各地・各分野の代表が参加します。新基地建設反対の先頭に立つ名護市・稲嶺進市長からも期待のメッセージが寄せられています。また、普天間基地の無条件撤去と基地の移転反対を求め、島民の先頭に立ってたたかっている鹿児島県徳之島・伊仙町の大久保明町長も 2 日間にわたって大会に参加し、その思いを訴えられます。大会は文字通り、沖縄県知事選挙後の新たな局面をふまえ、沖縄と全国の連帯を強めて運動を発展させる、重要な大会になろうとしています。

大会にはまた、アメリカ、韓国、フィリピン(反基地ネットワーク・アジア太平洋)、アフガニスタンの代表も参加し、「米軍基地・軍事同盟のない平和なアジアの実現めざして」をテーマに国際シンポジウムも開催します(12 月 2 日)。このシンポをはじめ、大会は、国民のなかに広がっている、「どうしたら平和なアジアを実現できるのか?」「米軍基地や安保をなくしても大丈夫なのか?」などの疑問や関心にこたえ、平和な日本とアジアの展望を明らかにします。

沖縄の海兵隊と一体の米軍佐世保基地調査行動、多彩なテーマのシンポ・分科会、全国と世界の運動を交流する全体集会など、大会は文字通り、「安保」を丸ごと学び、考え、憲法を活かした平和な日本の未来を議論する、かけがえのない機会になろうとしています。

この大会に全国の地域・職場・学園、団体から、青年はじめ 1 人でも多くの参加者を送りだしましょう。それはいま、民主党政権が国民の期待を裏切ってすすめている、米軍基地強化、「思いやり予算」継続、憲法じゅうりんの自衛隊海外派兵推進など、危険な日米軍事同盟強化路線をくいとめ、新たな平和運動を発展させる大きな力をつくりだすものです。

この大会への参加者の輪を、最後の最後まで広げ、大会を大きく成功させましょう。そして、平和のメッセージを持ち寄り、大会最終日に佐世保ピースパレードを元気いっぱいくりひろげましょう。